

# 鳥取大学と連携(3)

## サンプル調査

今回は、企画情報課が鳥取大学と連携して取り組む「外出状況実態把握調査」についてお知らせします。

実践的な学習の機会となり、大きな刺激にもなったようでした。

### お年寄りの身近な移動を支えるために

年を重ねても、健康（元気）な人は積極的に外出しています。大山町では、「年を取つても、健康状態を良好に維持し、潤いのある生活を送る」ために、自宅周りの移動など、高齢者の身近な移動問題に着目しています。

平成24年2月26日には、御来屋地区で行われた防災訓練にあわせて、シニアカー（1人乗りの電動4輪車）の導入の可能性について、実際に住民の方に試乗していただき、検討を行いました。

この検討を踏まえ、さらに身近な移動のニーズや課題などがないか、今後の取り組みのための基礎資料を得るために、鳥取大学（谷本圭志教授の研究室）と連携したサンプル調査を行うことになりました。調査は、土屋哲准教授、岩田千加良技術職員の指導のもと、学生約30人が11月12日から12月3日にかけて、旧奈和・押平・御来屋の3地区の調査対象世帯を1軒1軒訪問し、直接お話を伺う形で行いました。

調査にあたった学生たちにとっては、日々の大学での講義とは異なり、実際に現地に出向き、その時の状況に応じて、臨機応変に調査を行うなど、自分たちで工夫しながらの

結果報告を鳥取大学から受け、町はこの成果を高齢者の身近な移動に関するニーズや課題に関する具体的な施策等を検討する、ひとつのがかりにすることとしています。また大山町にとっては、今回の鳥取大学との連携で、専門的な助言や支援を受けることができ、今後の取り組みを検討していくうえで、大きな力を得ることができました。

### 調査にあたった

#### 鳥取大学4年生・的場勇人さん

『先日の調査につきましては、お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。住民の皆さんがあたたかい対応で、私たち学生も、当初の緊張を忘れて調査を行うことができました。おかげさまで、多くの情報が得られたと思います。

また、調査以外でも多くの住民の方とお話しができ、わずかな時間ながらも交流できたことをうれしく思います。

今回の調査が、皆様のより活動的な暮らしに役立つものとなれば幸いです』



的場さん



▲調査にあたる谷本圭志教授の研究室の学生たち